

# コミュニケーション英語Ⅲ Discovery English Communication Ⅲ

## 学習指導計画案

### 1. 到達目標

<p>1. 事物に関する紹介や報告，対話や討論などを聞いて，その概要や要点をとらえることができる。</p> <p>2. 説明，評論，物語，随筆などの様々な内容の英文を，目的に応じて速読や精読を行い，論理展開をとらえることができる。また，聞き手に伝わるように音読や暗唱をすることができる。</p> <p>3. 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，英語で論理的に意見を述べたり，発表したり，話し合ったりして結論をまとめることができる。</p> <p>4. 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，論理的でまとまりのある英文を書くことができる。</p>
---

### 2. 学習計画および評価方法

#### (1) 年間学習計画等

学期	月	学習内容とねらい (配当時数) 計 118 時間	備考 (学習活動の特記事項，他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など)	考查範囲
第 1 学期	4 月	<b>Lesson 1 Festivals in the World!</b> (8) <題材>世界には日本人が驚くような祭りがある。タイの「水かけ祭り」，スペインの「トマト投げ祭り」，ベトナムの「お見合い祭り」の例を通して，異文化理解を深める。 <言語材料> (文法) the 比較級+S+V ~, the 比較級+S+V.../*関係副詞の非制限用法 / to 不定詞の受け身 (語句) in hopes of ~ / prior to ~	・日本の有名な祭りを取り上げ，それがどのような祭りか，お互いに発表する活動に取り組む。 ・何のために人々は祭りをを行うのか，本文で紹介された祭りや地元の祭りを参考にしながら，お互いに話し合う活動に取り組む。	第 1 学期中間考查
	5 月	<b>Lesson 2 One Red Paper Clip</b> (8) <題材>カナダの青年カイル・マクドナルドは，1本の赤いクリップから物々交換をくり返し，最終的に家を手に入れた。おとぎ話のような実話を，英字新聞の文章形態で読む。 <言語材料> (文法) 結果を表す to 不定詞 / 時制の一致 (語句) put one's mind to ~ / be to do ~ / in exchange	・“One red paperclip”のホームページを読み，交換したものについて詳しく調べ，発表する。	
		<b>Listening Practice ① 予定やイディオムについて聞く</b> (2)	・概要を把握し，聞き取るべき情報をとらえる。	
		<b>Reading Practice ① 広告を読む</b> (2)	・速読し，読み取るべき情報を把握する。	
第 1 学期	6 月	<b>Lesson 3 Mother to Birds</b> (8) <題材>オーストリアの動物行動学者，コンラート・ローレンツ。彼の代表的な研究である「刷り込み」の現象について読む。 <言語材料> (文法) as if+to 不定詞 / no matter+疑問詞 / S+V+形容詞+that 節 (語句) out of ~ / put up with ~	・どのような動物に「刷り込み」の現象が起こるのか，インターネットなどを使って調べ，クラスで発表する。	第 1 学期期末考查
		<b>Lesson 4 The 20-Second Rule</b> (8) <題材>「三日坊主」を防ぐにはどうしたらよいのだろうか。それには「20秒」という時間がカギを握っている。日常生活のさまざまなシーンでも役立てられる「20秒ルール」とは，どのようなものなのだろうか。 <言語材料> (文法) remember+to 不定詞 / unless+S+V (語句) in the middle of ~ / 否定語+bother (to do) ~ / for instance / on the other hand	・「三日坊主」になってしまった経験について，なぜそうってしまったのか理由を話し合い，クラスで発表する。	

第 学 期	7 月	Reading 1 Love at First Sight (5) ＜題材＞56歳の女性パメラは一人暮らし。ある日、彼女は意識不明の重態に陥り、気がついたときには盲目になっていた。そんなときに出会った町のよろず修理屋、ミッチ。彼らはお互いに恋心を抱くが…。心温まる感動の物語。	・人を好きになったきっかけなどについてグループで話し合う。	第 1 学 期 期 末 考 査
		Action! ① ◆旅行計画を立てよう◆ (2)	・日本の有名な観光地を選び、交通機関や宿泊施設、入場料などを調べ、旅行の計画を立ててみる。	
1	【課題・提出物等】 1. 課題：『ワークブック』と、指導書セット内のワークシート類の中で指示されている箇所を予習。 2. 提出：『ワークブック』と、指導書セット内のワークシート類（共に Lesson1～Reading1）、セクションごとのサマリー（50 words 程度）を提出。			
	【第1学期の評価方法】 1. 評価対象：中間考査および期末考査の成績、各課の小テスト（指導書セット内の『テスト問題例』を活用）、スピーキングテスト2回（各課で扱われた話題に関して自分の意見や考えを述べる）、『ワークブック』や指導書セット内のワークシート類への記入状況、授業時間内のペアワークやグループワークへの取り組み状況、課題提出状況、プレゼンテーションテストを評価対象とする。 2. 評価配分：中間考査および期末考査の成績－50%、小テスト－15%、プレゼンテーションテスト・スピーキングテスト－15%、『ワークブック』や指導書セット内のワークシート類への記入・ペアワークへの取り組み状況－10%、課題－10%			

学 期	月	学 習 内 容 と ね ら い (配当時間)	備 考 (学習活動の特記事項、他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など)	考 査 範 囲
第 2 学 期	9 月	Lesson 5 That Night Changed My Life! (10) ＜題材＞40代半ばでタレント・オーディション番組に参加し、一夜にして時の人となった英国の歌手スーザン・ボイル。そのシンデレラストーリーと、それまでに彼女が歩んできた苦難の生活について読む。夢と感動に満ちた教材。 ＜言語材料＞（文法） be 動詞の進行形 / if の省略された仮定法（語句） work out / without a doubt / go on to ~ / shut ~ up / take part in ~ / lose to ~	・夢を叶えるためにはどのようなことが必要か、グループで話し合い、発表をする。	第 2 学 期 中 間 考 査
	10 月	Lesson 6 How to Build a Dinosaur (10) ＜題材＞映画『ジュラシック・パーク』のように、恐竜を現代によみがえらせることは可能なのだろうか。古生物学者のジャック・ホーナー氏の魅力的なプレゼンテーションを通して、その可能性をさぐる。 ＜言語材料＞（文法）*完了形の to 不定詞 / by the time + S + V（語句） figure out ~ / bring back / turn on / stop ~ from doing / go for ~ / get rid of ~ / to one's liking	・過去にさかのぼることができるか、時代と理由について話し合い、発表する。 ・「生物基礎」あるいは「生物」と関連づける。	
		Listening Practice ② 予期せぬ出来事について聞く (2)	・概要を把握し、聞き取るべき情報をとらえる。	
	11 月	Reading Practice ② 説明文を読む (2)	・速読し、読み取るべき情報を把握する。	
		Lesson 7 “Hot” Lunches in Mumbai (10) ＜題材＞インドのムンバイには、ダバワラと呼ばれる弁当配達人がいる。彼らはモンスーンが吹こうが政治抗争が起きようが、毎日各家庭から弁当を収集し、届け先に正確に配達する。彼らの驚異の配達システムとは、どのようなものなのだろうか。またムンバイではなぜ彼ら	・ムンバイについての情報をインターネットなどを使って調べ、グループでまとめ、発表する。	

第 2 学 期		が必要とされているのだろうか。 <言語材料> (文法) 名詞のくり返しを避ける that (語句) instead of ~ / on top / by ~ standards / by word of mouth / in addition to ~		第 2 学 期 末 考 査
	12 月	Lesson 8 Saving Orphaned Animals (10) <題材>ケニアで動物の孤児院を運営するダフニー・シェルドリックの活動と、その活動を手助けしたエレナという名のゾウとの交流を描いた心温まる物語。 <言語材料> (文法) *否定語が関与する倒置 / to one's + 感情を表す名詞 (語句) devote oneself to ~ / take one's place among ~ / little by little / in particular	・国際自然保護連合 (IUCN) のホームページで、乱獲などにより絶滅の危機に瀕している動物について調べ、発表する。	
		Action! ② ◆食事・ホテルでのやりとり◆ (2)	・本文の例も参考にして、食べてみたいハワイの郷土料理と、その歴史や名前の由来を調べ、発表する。	
<p><b>【課題・提出物等】</b></p> <p>1. 課題：『ワークブック』と、指導書セット内のワークシート類の中で指示されている箇所を予習。</p> <p>2. 提出：『ワークブック』と、指導書セット内のワークシート類 (共に Lesson 5~Lesson 8), セクションごとのサマリー (50 words 程度) を提出。</p> <p><b>【第2学期の評価方法】</b></p> <p>1. 評価対象：中間考査および期末考査の成績、各課の小テスト (指導書セット内の『テスト問題例』を活用)、スピーキングテスト2回 (各課で扱われた話題に関して自分の意見や考えを述べる)、『ワークブック』や指導書セット内のワークシート類への記入状況、授業時間内のペアワークやグループワークへの取り組み状況、課題提出状況、プレゼンテーションテストを評価対象とする。</p> <p>2. 評価配分：中間考査および期末考査の成績-50%、小テスト-15%、プレゼンテーションテスト・スピーキングテスト-15%、『ワークブック』や指導書セット内のワークシート類への記入・ペアワークへの取り組み状況-10%、課題-10%</p>				

学期	月	学習内容とねらい (配当時数)	備考 (学習活動の特記事項、他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など)	考査範囲
第 3 学 期	1 月	Lesson 9 What is Needed for Success? (10) <題材>古今東西の成功者に共通するのは、どのようなことなのだろうか。カナダのアイスホッケー選手、モーツァルト、ビートルズ、ビル・ゲイツの例をもとに、成功に不可欠な要素を知る。 <言語材料> (文法) 補語が関与する倒置 / *同格の that 節 (語句) drop out of ~ / no doubt / by contrast	・高校卒業後の人生において、「自分にとって成功とは何か」をグループで話し合い、発表する。 ・キャリア教育と関連づける。	学 年 末 考 査
	2 月	Lesson 10 Amazing Grace: Song to Soul (10) <題材>米国の第2の国歌とも言われる「アメージング・グレース」。歌詞誕生に秘められたエピソードを読み、人権の尊さについて学び、その大切さを理解する。 <言語材料> (文法) 補語につく冠詞の省略 / *付帯状況を表す with / come + to 不定詞 (語句) 否定語 + without doing ~ / on average / use up ~ / nothing much / at ease	・今流行っている歌のなかで、10年後も人気があると思う歌はどれか、グループで話し合い、発表する。 ・「世界史A」あるいは「世界史B」と関連づける。	
		Action! ③ ◆お礼のメールを書こう◆ (2)	・“Thank you.”以外に「感謝」を表す表現にどのようなものがあるかを調べる。	

第 3 学 期	3 月	<b>Reading 2 From Homeless to Harvard (7)</b> <題材>米国の少女ドーン・ロギンズは、一度はホームレスにまでなりながらも、周囲の人々の助けを得て、ハーバード大学に合格した。さまざまな悲しい出来事を乗り越えて夢をかなえたドーンの話を読み、努力し続けることの大切さを学ぶ。	・「自分の夢をかなえるために何をすべきか」というタイトルでスピーチを行う。
	<b>【課題・提出物等】</b> 1. 課題：『ワークブック』と、指導書セット内のワークシート類の中で指示されている箇所を予習。 2. 提出：『ワークブック』と、指導書セット内のワークシート類（共に Lesson 9～Reading 2）、セクションごとのサマリー（50 words 程度）を提出。		
	<b>【第3学期の評価方法】</b> 1. 評価対象：学年末考査の成績、各課の小テスト（指導書セット内の『テスト問題例』を活用）、スピーキングテスト1回（各課で扱われた話題に関して自分の意見や考えを述べる）、『ワークブック』や指導書セット内のワークシート類への記入状況、授業時間内のペアワークやグループワークへの取り組み状況、課題提出状況、プレゼンテーションテストを評価対象とする。 2. 評価配分：学年末考査の成績－50%、小テスト－15%、スピーキングテスト－15%、『ワークブック』や指導書セット内のワークシート類への記入・ペアワークへの取り組み状況－10%、課題－10%		
<b>【年間の学習状況の評価方法】</b> 1 学期、2 学期および3 学期の成績を総合し、年間の学習成績とする。			

(注) 言語材料のうち、\*は「コミュニケーション英語Ⅱ」での学習事項を表す。

生徒へのアドバイス

<p>確かな学力を身につけるためのアドバイス</p>	<p>英語の学力とは、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりすることができることである。具体的には、英語を聞いたり読んだりして、そこにある情報や考えを理解し、まとめたり要点をとらえたりすることであり、もう一つは、学んだり経験したりしたことに基づき、英語で情報や考えを話し合ったり書いたりすることである。</p> <p>そのためには、英語による情報を聞いたり読んだりして、できるだけ多くの情報を取り入れる時間を作ることが必要であり、また、英語で話したり書いたりして、できるだけ英語を使う機会を増やすことが必要である。具体的には、教科書の本文をまとめたり、自分が感じたことを書いたり話し合ったりする活動が考えられる。</p> <p>そして、この「聞く」「話す」「読む」「書く」という能力を支えるのが文法であり、語彙力である。どちらも単に覚えるだけでなく、実際に使ってみるという視点を忘れてはならない。</p>
<p>授業を受けるに当たってのアドバイス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアワークやグループワークでは、積極的に英語を使うようにする。わからないと思って黙ったり、日本語で話したりすることなく、簡単な文構造や語彙を用いて表現することが大切である。</li> <li>・プレゼンテーションやスピーチにおいては、聞き手を意識することが重要である。</li> <li>・日本語に直して理解しようとするのではなく、英語の語順のまま意味をとるように心がける。</li> <li>・辞書を活用し、単語・連語・慣用表現の意味や発音を確認するとともに、例文などを通じて、使い方をしっかり調べる大切である。</li> </ul>

(2) 評価の観点、内容および評価方法

評価の観点	評価の観点および内容	評価方法
<p>関心・意欲・態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション活動に興味や関心を持ち、積極的に言語活動に参加し、コミュニケーションを図ろうとしているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアワークやグループワークへの参加態度を観察</li> <li>・自己評価</li> <li>・学んだ表現を積極的に使おうとしているか。</li> </ul>
<p>外国語表現の能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の内容について自分の意見や感想を英語で論理的に表現できるか。</li> <li>・聞き手を意識して音読できるか。</li> <li>・発話の際の発音・リズム・イントネーションは適切か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『ワークブック』</li> <li>・ペアワークへの参加態度を観察</li> <li>・スピーキングテスト</li> <li>・プレゼンテーションテスト</li> <li>・サマリー、エッセーライティング</li> <li>・音読テスト</li> <li>・定期考査のライティング問題</li> </ul>
<p>外国語理解の能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の内容やその話題に関する英語を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意図を理解したり、概要や要点をとらえることができるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『ワークブック』</li> <li>・定期考査のリーディングやリスニング問題</li> </ul>
<p>言語や文化についての知識・理解</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション活動の実践を支える必要な語彙、発音、文法などに関する知識、文化の違いについて理解しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『ワークブック』</li> <li>・セクションごとの単語・熟語・表現テスト</li> <li>・定期考査</li> </ul>